

主目的のできごとを写真でレポート

まちかど トピックス



1 実際に幕絵を見た参加者は驚きの声を上げ、解説に聞き入っていました。
2 3 聴講に集まった約80人が、熱のこもった講演に耳を傾けました。



伝 児玉果亭作
王日神社・幕絵を囲んで

実物の幕絵を見ると、和紙に描かれていることやその大きさにびっくり。郷土の偉人の作品に触れ、感動しました。



市内から参加
青木小百合さん

中央公民館で、児玉果亭の作品と伝わる王日神社の2枚の幕絵「舌切り雀」と「鼠大根」を読み解く文化教養講演会を開催しました。

講師の高田紫帆さん（水野美術館）は、落款や絵柄、歴史などから絵を読み解き、幕絵が果亭の作品に間違いのないことや制作された年が1869（明治2）年と判明したことなどを講演。訪れた聴講者に「地域の素晴らしい宝を次の世代に伝えてほしい」と語りました。

中野市政策研究所
調査研究報告会

市役所組織内に設置した自治体シンクタンク「中野市政策研究所」。
スタートから3年目となる今年は、9人の研究員が「中野市が愛される都市となるための課題と戦略」「つながりを誘発するための仕組み」「SDGs（エスディーゼイズ）普及」の3つをテーマに研究を行い、それぞれ研究成果の報告を行いました。

「中野市が中野市らしく」を意識しながら数十年先を見据え研究しました。子どもや孫の世代の役に立てればと思います。

「つながりを誘発するための仕組み」研究発表者

篠原 友貴 さん



熱戦が繰り広げられました
中野市綱引き大会

中野市民体育館で第15回B&G財団会長杯中野市綱引き大会を開催し、今年是一般男子、一般女子、子どもの部の計17チーム125人が参加しました。
会場には大勢の関係者や子ども達の保護者などが応援に訪れ、応援を受けた参加者は息を合わせて力いっぱい綱を引いていました。



令和元年度 中野市農業経営技術奨励賞表彰式



中野市の農業の模範となる
農業経営技術奨励賞

農業経営の内容が特に優れた模範となった人や、奨励に値する研究などを行った人に贈られる「中野市農業経営技術奨励賞」の表彰式を行いました。
今年度は出川純一さん（写真中央）、市川和仁さん（写真左）の2人と、農事組合法人ひらの培養センター（写真右）が受賞されました。